

九州のなかま

2011-13

秋闘情報: NO. 13

発行日 : 2011年11月29日(火)

発行者 : 生協労連 九州地連

九州地連 青年部会

フレンドリーinくまもと



11月26日(土)～27日(日)、熊本市内にて8単組44名が参加して青年部会企画「フレンドリーinくまもと」が行われました。まずは、参加者同士の親睦を深めるために熊本城公園で「場内の素敵な写真を撮る・最賃君を探して一緒に写真を撮り、最賃クイズに答えてくる」をミッションにフィールドワーク。しかし、肝心の最賃君は熊本城公園に入るお金が払えず、結局、熊本城をお堀から眺めるはめに！その手にはせめてもの贅沢か？強がりか？缶

コーヒーの「贅沢微糖」が！！その最賃君に同情と「入場料やその他の出費が自分の時給以上になる」など考えさせられたという声がありました。参加者は最賃君を探すのに苦労することで更に絆が深まり楽しみました。また、最賃君とおきの最賃クイズ(各県の最低賃金を答える)もなかなか正解者が出ませんでした。最低賃金について素直にかつ、さりげなく関心を持ってもらう場にもなりました。

2日目は前日に触れた最低賃金についてと時給1000円を目指す生協労連の考え方について簡単な学習会を行った後、労働基準法のチェックリストを使って、職場の労働安全衛生について交流する分散会を行いました。その中では交流だけで終わらずに「あなたが上長だったらどうしますか？」というテーマで交流しました。特に、年休の消化についてはどの分散会も盛り上がるのと同時に「自分ならどうするか？」を考えました。2日間を通して、将来の労働組合や生協の運動を担う青年がなかまと学びあい、交流することが進みました。



青年部会では来年のフレンドリー企画に向けて早くも動き始めています。「開催希望の単組はお知らせください♪」とのことですよ。

